

# 埼玉支部会員のための50山 (2015-02-09改版)

はじめに断っておきますが、この50山はいわゆる「名山」という訳ではなく、色々なレベルの方が登山を楽しむことができるように、高山から超低山まで様々な標高の山を選定しました。

そういう意味で特に選定の基準はなく、独断と偏見で、単に様々な標高の山を並べたに過ぎません。

ご自身のレベルに合わせて歩いて頂けると幸いです。

各山の「地図」をクリックすると、国土地理院の地図サイトに行き、山頂付近の地形図を表示します。

なお、「番外」の山は後ろに標高順に並べます。

No	山名	標高	概要	備考
1	三宝山	2483.3m 一等三角点本点	<a href="#">点の記には三方山と記録。厳密には頂上付近は埼玉県内にはならないので、埼玉県内最高峰は大なる疑問。三角点は境界杭ではないことを地元役所で再確認していただきたい大問題である。昔、甲武信小屋の元親父さんが埼玉県最高峰は甲武信ヶ岳と話していたが、測量等の根拠があつてのことだろう。関東平野から高々と大きな姿で見える。</a>	四季の山(夏山)として支部山行を2014/8月2日～3日に実施
2	甲武信ヶ岳	2475m 標高点	<a href="#">日本百名山。甲斐・武蔵・信濃の国境からの甲武信ヶ岳とは、だれが最初に採用したのか。明治19年の旧大滝村の記録に、すでに甲武信ヶ岳とある。『甲斐国誌』には三方山。しかし、遙か西方にある国師ヶ岳という名称の広域的な領域だった可能性が捨てきれない。「こくし」を聞く人によって「こぶし」と聞いても不思議ではなく、古い絵図にある拳岳はどう考えても隣の三宝山と思われ、この山名論は解決には至らないだろう。関東平野からも見えるが、その姿は名前ほどではない。何故日本百名山なのかも疑問が残る。</a>	日本百名山 四季の山(夏山)として支部山行を2014/8月2日～3日に実施
3	木賊山	2468.6m 三等三角点	<a href="#">呼称は「とくさやま」。余計な事を書くの間違える恐れがあるが、この三角点の点名は「破風」。東にあるピークの三角点の点名は「破下山」。この辺一帯の山の総称として「はふ」「はふー」と呼称されていたのだろう。点名は明治時代の測量官が地元の方から採取して採用しているので貴重な記録である。</a>	四季の山(夏山)として支部山行を2014/8月2日～3日に実施
4	雁坂嶺	2289.2m 三等三角点	<a href="#">雁坂峠の上にあるから雁坂嶺ではなく、そもそも古い山越えは鞍部を目指すのではなくピークを目指して山を越えた筈である。浦山溪谷の奥にある仙元峠もピークが峠。旧大滝村の古文書集の中には、雁坂越えのルートでの遭難者の記録がいくつも出てくる。いつの時代も山越えは大変であったが、現在はその下をあっという間に通過してしまい、そこに歴史は残るのだろうか。</a>	四季の山(夏山)として支部山行を2014/8月2日～3日に実施
5	飛竜山	2069.1m 三等三角点	<a href="#">別名「大洞山」。現在の地形図には三角点が山頂からズレているため山頂の標高も標高点2077mとして記載してある。飛竜権現のところから山頂に至るが、第二次世界大戦の時の航空母艦『飛竜』へ祭りこんだ神様はここからだと言う話を聞いたことがあるが、本当だろうか。東京、浦和方面からは見える山である。</a>	別名「大洞山」
6	白石山	2036.0m 二等三角点	<a href="#">日本二百名山【埼玉名・和名倉山】。昭和30年代に大規模な山火事が発生し自然が失われたが、現在100年掛けて緑を復活させようと埼玉大WV部OBらが中心となって大規模な植樹等が行われている。現在でも行き難い山の一つであり、山体が大きいので要注意。</a>	日本二百名山、埼玉名「和名倉山」 支部山行を2012/10月に実施したが悪天で登頂断念。 2013/6月に再チャレンジし登頂
7	雲取山	2017.1m 一等三角点補点	<a href="#">日本百名山 現在一般には奥秩父で知名度、人気度でトップ。晴れた日の山頂からの富士山は素晴らしい。山頂にある原三角測点は、全国に三つ残っている内の一つで一番大きく立派。そこに記載されている明治十五年十二月は、あの秩父事件以前である。北側にある雲取山荘は埼玉支部会員の新井信太郎さんの経営。</a>	日本百名山 三支部合同登山を2012/4月に実施
8	笠取山	1953m 標高点	<a href="#">昭和初期「奥秩父」の大書を発行した原全教は、この1953mに「笠取山」と命名する根拠を発見するのに苦しむと記録され、山梨県側山麓三ノ瀬で呼称されている「袴腰山」を本文、地図の中で採用。笠取山の名は笠取小屋西方にある三角点1802.1mのピークに採用している。地形図上の山名は地元市町村役場から提出される地名調書を元に採用するため、地元役場で位置を誤って報告したのか、地形図上に採用する時の位置を陸地測量部が間違えたのかのどちらかである。調べてみないと判らないが、訂正されないまま一般化してしまった山名のようだ。</a>	

No	山名	標高	概要	備考
9	三国山	1834m 標高点	<a href="#">上野、武蔵、信濃の三国境の山。車での入山以外は入山しにくい山だけに山頂を踏んだという登山者はあまり聞かない。甲武信ヶ岳が南の三国境に対して、ここは北の三国境。両山とも何故か三角点が無く、何故こちらの山名が上武信ヶ岳(じよぶしがだけ)にならなかったのだろうか。それだけに甲武信ヶ岳の山名には大いに疑問が残るのである。</a>	支部山行を2014/9月に予定
10	両神山	1723.0m 二等三角点	<a href="#">日本百名山。埼玉支部会員の人気度ナンバーワン。関東平野からも簡単に確認できる鋸状の山。やはり一度は登りたい山の一つ。昭和初期、原全教が延べヶ月にもわたる調査で『奥秩父』に紹介、人気絶えない山の一つである。</a>	日本百名山 支部山行(総会記念山行)を2011/4月に実施 2014/10月19日、全国支部懇談会で山行実施
11	天目山	1718.3m 二等三角点	<a href="#">別名・西谷山。現在の地形図には都県境の二箇所天目山の山名が記録されている。もう一つは三ツツツの位置である。簡単に説明すると埼玉県側では西谷の位置を天目山、東京都側は三ツツツの位置を天目山と呼称し、それは間違っていない。旧荒川村では迷わず西谷山を天目山と呼称、昔は小学校の遠足でも登り、古くは稜線に萱を採取する人が住んでいたという。</a>	支部山行を2014/5月に予定
12	大平山	1603.0m 三等三角点	<a href="#">この山を登ったという人も少ない。天目山林道から登ったとか、都県境から下ってきて登ったという話は聞く。山麓の細久保集落が栗山集落から忠実に登ったとなれば薮山グレードは最高級の本物。埼玉にも本格的な薮山が残っているが、熊もいるのでご注意ください。</a>	
13	霧藻ヶ峰	1523.1m 三等三角点	<a href="#">秩父宮殿下がここを登山したとき、サルオガセ(霧藻)があることから「霧藻ヶ峰」と命名したのが始まり。秩父宮のレリーフがあり、奥秩父開山式が毎年行われている。燕岩という別名もある。</a>	2012/4月の三支部合同登山時に通過
14	蕎麦粒山	1472.9m 三等三角点	<a href="#">名前の如く、蕎麦粒の形状をした山。この形状を知れば、遠く離れても簡単に山座同定が可能な山。しかし本来の山名は火打石山らしく、そこから火打石の石があるからとなっていたが、山岳修験の研究者が「蕎麦粒?、火打石の石があった?、違よよ!」と話していた。真相は判らないでいる。</a>	支部山行を2014/5月24日に実施
15	秩父槍ヶ岳	1430m 等高線	<a href="#">昔は登山関係にまったく知られていなかった山。『奥秩父・大菩薩連嶺 アルパインガイド』(羽賀正太郎著・山と渓谷社発行)の「十文字峠越え」の地図上で、標高点1341m南西の1430mの等高線があるピークを槍ヶ岳と記載されたのが最初。後に『分県登山ガイド 埼玉県の山』(山と渓谷社・1993年初版)に紹介されてから俄然注目されたが、同書には山名を誤ったまま紹介されている山もあるので要注意。</a>	支部山行を2012/9月に実施
16	熊倉山	1426.5m 三等三角点	<a href="#">昭和42年の埼玉国体の時にルートが整備され人気が高まった山である。秩父鉄道の白久駅からバスにも乗らずに、直接登り出せる山として人気があった。しかし、途中の沢沿いのルートのところで断層が走っているのか、山は常に荒れて転落事故が絶えずルートが尾根沿いに変更になった。この山中は意外にも道迷う人は女性登山者が多く、また山麓の二見沢によく熊が出没するので注意したい。</a>	支部山行を2012/7月に実施
17	矢岳	1357.9m 三等三角点	<a href="#">まず、この山は遭難が多い山なので、山慣れた方と歩いていただきたい。古いガイドブック、古い登山用地図のルートは誤っている可能性があるため十分な注意が必要である。特に安谷川沿いの林道が何箇所も崩壊しているため安谷川側からの入下山ができず、武州中川駅から大そり道経由で尾根上を往復するルートだけが可能となっている。山が荒れているので、道に迷ってスリップ等での転落による遭難が多く、入山者が極端に少ないため発見されるまでに時間を要し、捜索隊が入山すると他の遭難遺体を発見すると言う、一時期は埼玉県内最悪の山であった。我こそはと言う方でも、十分なるご注意をお願いしたい。</a>	支部山行を2013/10月に実施
18	武甲山	1295.4m 二等三角点	<a href="#">日本二百名山 大正時代から始まった採掘により現在衰れた姿となったが、その知名度は江戸時代すでに中山道の絵図の中で大宮宿付近からふじ山と武甲山が見える」と記録され、伊能忠敬が作成した地図の中でも中山道桶川宿辺りから武甲山への方向線が引かれていた。それだけ目立った山であり、採掘さえなければ、知名度、人気度ともに埼玉県内トップの山だった可能性が高く、日本百名山に相応しい山ではないだろうか。残念な名山なのである。</a>	日本二百名山 支部山行を2010/11月に実施 支部山行(総会記念山行)を2014/4月に実施 2014/10月19日、全国支部懇談会で山行実施
19	有間山	1213.5m 三等三角点	<a href="#">旧名栗村の名栗湖から広河原逆川線という秩父の浦山口にまで延びる林道を車で走り、最高地点の峠から簡単に行くことができる。山麓から歩くとなると時間との戦い。山頂稜線は防火帯になっており、この三角点は削られて酷い姿である。関東平野からもよく見える山である。</a>	支部山行(総会記念山行)を2013/4月に実施
20	二子山	1165.8m 三等三角点	<a href="#">同名の山は多い。ここで言う二子山は、小鹿野町の奥にある二子山であり、埼玉のドロミテと表現するのが最適か。近年事故が多いのは残念。以前はこの山麓を西武鉄道が鉄道を引くという噂が絶えず、志賀坂峠には西武がロッジまで建てたが廃業。もし鉄道が引かれていたら坂本辺りに「二子山下」と言う駅ができ、二子山へ行く人で賑わったことだろう。</a>	支部山行を2013/7月に実施

No	山名	標高	概要	備考
21	御岳山	1080.4m 三等三角点	木曾の御嶽山王滝口を開いた普寛上人は、この山麓落合の出身。登山口近くにある普寛神社に祀られている。奥秩父入口の日帰りができる山として意外と人気があり、これからも注目される山だろう。	支部山行を2011/10月に実施
22	武川岳	1052m 標高点	古い地形図には三角点の記号があるが、昭和62年頃三角点標石が亡失。現在の地形図から三角点記号も消えた。武川岳という山名も秩父の登山者によって命名された名称。そもそも「ホーキ平」という名称で、三角点の点名は「籌平」。山体の割には武甲山と伊豆ヶ岳に挟まれた不遇な山である。	支部山行を2013/3月に実施
23	城峰山	1037.7m 一等三角点補点	頂上直下に城峰神社があり、現在は山頂にマイクロエープの鉄塔とそこに展望台が付随し、眺望は素晴らしく八ヶ岳が見える。鉄塔の下に一等三角点があり、三角点の説明板もある。石間峠まで車で行くと簡単に登れる。	支部山行を2011/8月に実施
24	棒ノ折山	969m 標高点	ここも聞き取り方によって変化した不遇な山ではないだろうか。そもそも「ぼうのおね」と言われていたのが、聞き取り方によって「ぼうのおれ」、「ぼうのれい」と聞え、それを漢字で「棒之折」、「棒の嶺」と表現、後に各種表記が現れ、どれが正解か混乱の域に。このような例は意外と多く「山王峠」が登山関係で「三の峠」と記録されている例がある。昔から沢登りで人気があった白谷沢の上部を、現在林道「大名栗線」が横切り、オートバイと乗用車が走っている。	支部山行を2011/7月に実施
25	丸山	960.3m 三等三角点	山頂からの武甲山、奥秩父、両神山、秩父盆地が見える位置的關係が素晴らしく、奥武蔵屈指の展望台と古くから称されてきた。その中でも北アの鹿島槍から白馬岳北峰への稜線も見える記録されていた内容が大きな誤りであることが確認され、本家本元の槍ヶ岳を中心とした南部の山々が見えていたことが判明した。他に八ヶ岳、上越国境の山々から日光、高原山、八溝方面の山々まで見え、極めつけは横手山のスキー場と相模湾に浮かぶ船が見える。	支部山行(設立記念山行)を2010/4月に実施
26	堂平山	875.8m 一等三角点本点	埼玉の躰とも言うべき県内唯一の一等三角点本点。旧国立天文台のドームが残っている。ほぼ山頂まで車で登れる山。関東平野と北関東の山々の展望、そして百万ドルの夜景も素晴らしく、遠く房総半島の山々まで見える。遥か彼方に見える筑波山との標高差が10センチであることも知られていない。南西尾根続きの標高点864m南側から遠く北ア・槍ヶ岳を肉眼で確認できる。	支部山行(忘年山行)を2011/12月に実施
27	伊豆ヶ岳	850.9m 三等三角点	伊豆が見えたから伊豆ヶ岳は古い冗談。東側山麓の畑井に伊豆権現が祭られており、付近は江戸時代末期伊豆葎山の代官、江川太郎左衛門の領地。明治四年廃藩置県により一時期葎山県だった事実を知れば伊豆ヶ岳という山名に疑問はないだろう。奥武蔵での人気度トップの山である。	支部山行を2011/11月に実施
28	笠山	837m 標高点	堂平山の北側にあり、地元で別名「おっぱい山」として著名。小川町、鳩山町辺りから見ると納得できる山形。関東平野から見ると見事な三角形の山で、どこからでも確認しやすい山である。	支部山行を2012/3月に実施
29	四阿屋山	771.6m 三等三角点	花で有名になった山。山頂付近は岩場で狭く、転落死した方もいるので要注意。季節には山頂に上がるのに順番待ちの事も。下山すると山麓に国民宿舎と温泉が待っている。	支部山行を2011/3月に実施
30	大霧山	766.6m 三等三角点	晴れば八ヶ岳が見える。秩父礼所巡りの一番四萬部寺へのルートは、北側の粥仁田峠もしくは南側の旧定峰峠を越えた。山名が大霧と言っても、山頂の住所は秩父郡東秩父村大字皆谷字大切。霧ではなく切だ。となると他の山と比較し、東西が薄い山形からの山名か。山名の漢字だけで判断すると危険な例である。	支部山行(忘年山行)を2012/12月に実施
31	登谷山	668m 標高点	奥秩父・北関東の展望が素晴らしく、一度は行ってみたい山。快晴の日、北ア・鹿島槍ヶ岳北峰の頭が見えることがある。中腹にある登谷牧場のアイスクリームは人気がある。東上線七峰縦走の時はご注意ください。寄居の駅まで実に長い。	支部山行を2011/9月に実施
32	破風山	626.5m 三等三角点	昭和40年代までは登山者も少なく展望もよかった。眼下に見える太田の地は条里寺の跡。西側の札立峠は秩父礼所めぐり最後の峠。北側には西国、坂東、秩父の日本百霊場最後の結願寺として著名な水潜寺があり、古くから多くの人の眼にとまった山ではないだろうか。	支部山行を2012/5月に実施
33	蓑山	586.9m二等三角点	一般的には桜で著名な山。車で山頂まで行ける。山頂の二等三角点は亡失していたが、やっと近年になり新二等三角点が設置されたようだ。秩父盆地の独立峰的な山で、武甲山が雄ならば、蓑山は雌的存在の山。山麓に秩父鉄道の駅が三つもあるのだから、もっと歩かれてもよい山ではないだろうか。	支部山行を2011/5月に実施
34	越上山	566.5m 三等三角点	「おがみやま」と呼称。意外と世間には知られていないが、山頂付近は双子峰の山。江戸時代から展望が素晴らしいと紹介され続けてきた山である。北西側にある越上沢は1-2mぐらいの滝が続き、沢登り初体験者に最適な沢であったが、現在は数化してしまい遡行されなくなったようである。古くは雨乞いをやった沢として近隣で知られていた。	支部山行を2012/2月に実施

No	山名	標高	概要	備考
35	陣見山	531.0m 二等三角点	稜線付近を林道が通っているが、地形図上で山頂から南西尾根沿いに延びる踏み跡は末端の登山口の位置がまったく違う。また南東沢沿いに延びる踏み跡は、山麓は存在するが途中から踏み跡がなく歩けないので要注意。山頂には埼玉テレビの中継所があり、何故か落ち着けない山頂である。	支部山行を2013/2月に実施
36	宝登山	497.1m 三等三角点	近年は山頂付近の蠟梅が有名になったが、埼玉県内の小学校の遠足で行く長瀬の山として知名度はかなり高い。山頂からの秩父盆地と奥秩父の山々の展望が素晴らしく、県内で唯一のロープウェイがある山である。	支部山行を2011/2月に実施
37	大築山	466m 標高点	越生町のあじさい山の奥にある山。麦原から標識が存在するが、怪しいところもあるので標高点の山を目指し読図力で登るのがよいだろう。山頂は城跡が素晴らしい。ハイカーとは滅多に会わない静かな山である。ときがわ町側からも登れる。	支部山行を2013/5月に実施
38	雷電山	418.2m 三等三角点	ときがわ町の雷電山。関東地方には数多くの雷電神社、雷電山などがあり、雷、雹、霜等の自然災害に対する信仰が篤かった事が伺える。現在は何でもコンピュータの時代になり、意外にも雷対策が重要な課題となってきた。そんな時に注目されたのが雷電神社の雷除けのお札。この雷電山も、そんな事と関係している山ののだろうか。	支部山行を2013/1月に実施
39	物見山	375.4m 一等三角点補点	日和田山奥の物見山。ハイキングコースを歩き、物見山の看板がある頂上には三角点が無く、少し北東側に歩くと尾根上に一等三角点標石がある。三角点が必要しも山頂にあるとは限らない例で、もう一つ注目していただきたいのは三角点標石の向きである。一等三角点にも関わらず、その向きは北西である。一等三角点本点の望平山に向いているような気がしてならない。	支部山行を2011/1月に実施 ふれあい登山を2011/4月に実施
40	鐘撞堂山	329.9m 三等三角点	寄居町の裏山的存在。深田谷津から登るのが一般的であるが、周囲から数多くのルートが山頂に延びている。しかし、読図力を要求されるので、やたらに下らない方がよいだろう。山頂には展望台がある。	支部山行を2012/1月に実施 ふれあい登山を2012/4月に実施
41	日和田山	305.0m 四等三角点	奥武蔵の入口にあり、ハイカー、クライマー、歴史・植物グループ、幼稚園の遠足までと、とにかく各種分野の人達で賑わい山頂が満杯になることもある。それだけに踏み跡も多く、道に迷わないように。山頂南側の鳥居の傍に木曾の御嶽山を開いた普賢上人の石碑があることは知られていない。	支部山行を2011/1月に実施 ふれあい登山を2011/4月に実施
42	金勝山	263.9m 二等三角点	埼玉県立小川げんきプラザが傍にあり、時には子供達で賑わっている山。地質関係者にはペグマタイト(?)で有名らしく、JAC山の自然学研究会でも現地調査をしたようである。東武東上線とJR八高線に挟まれ、国道254号線も脇なのに寄る人は少ない山である。	支部山行(忘年山行)を2010/12月に実施
43	天覧山	197m 標高点	古くは愛宕山、江戸時代に羅漢山と呼ばれるようになり、明治16年山麓で行われた近衛兵部隊の演習を明治天皇がこの山から統監したことにより天覧山と呼ばれるようになり現在に至っている。地元には名誉ある山名かもしれないが、反面本来の山名を忘れられ不遇な山と言ってもよいだろう。山麓に岩登りの練習場がある。	支部山行(忘年山行)を2012/12月に実施
44	物見山	135.0m 二等三角点	東松山市と鳩山町の境界。別名・岩殿山。北側に坂東札所の岩殿観音がある。この山頂付近を北緯36度線丁度が東西に伸びているので覚えておくと何かの時に便利である。山頂は整備されており、直下を女子大生を乗せたスクールバスが唸りをたてて通過して行く。	支部山行を2013/11月に予定
45	二ノ宮山	131.7m 二等三角点	滑川町 登山関係で、この山頂に立ったという人を聞いたことがない。関越自動車道からも見える山で、意識しないと行く機会がない山であり、山頂に何故か立派な展望台がある。何が見えるのだろうか。	支部山行を2013/12月に予定
46	荒幡富士	119.1m 二等多角点	地形図にも記載あり。西武鉄道狭山線下山口から徒歩15分。明治32年(1899)、丘陵に築かれた富士塚。南に西武球場ドーム、遠くには新宿の高層ビルも望め、所沢市民誇りの山でもある。 ※2011-03-11の東日本大震災で所沢市は震度5弱でした。その影響で荒幡富士の一部が損壊しました。山頂は地盤沈下し、山頂の祠が倒壊しました。地元荒幡富士保存会が修復、7月1日の山開きまでには元通りにしたとのことです。	支部山行を2014/1月に実施
47	大久保山	112m 標高点	埼玉県内でも数少ない駅前にある山。それも長野・上越新幹線の本庄早稲田駅前。自動車で行っても関越自動車道・本庄児玉ICの傍。早稲田大学本庄校舎の文化祭と合わせて行くのがよいだろう。	支部山行を2014/2月に実施
48	観音山	77.4m 一等三角点補点	熊谷市 地元で三ヶ尻観音山と言って知らない人はいない。山頂に三角点が二つもあり、97.5mの三角点は山頂にある鉄塔の上。正式には偏心点という。77.4mは山頂の地面上にあり、金属標の一等三角点。長野・上越新幹線に乗って熊谷駅を過ぎると左側傍に見え、山頂の鉄塔が三角点槽になっているのが確認できるが、うっかりしていると新幹線は何事も無かったようにカトン、カトンと快調な音を響かせながら通過していくので注意を。	支部山行を2011/6月に実施

No	山名	標高	概要	備考
49	丸墓山	35.7m 三等三角点	<a href="#">行田市 築山されてから千数百年の歴史的バックグラウンドがあるのに、登山関係者からの注目度はゼロに近い。1590年、石田三成は忍城水攻めの際、この山頂に陣を張ったと言われている。近年は、世界遺産に登録しようという話もあり、富士山と争うことになるのだろうか。山麓には呑み屋、温泉ともに揃っている。</a>	支部山行を2011/6月に実施
50	浅間山	約20m	<a href="#">さいたま市大宮区浅間町二丁目 石橋支部長推薦の読図力を要求されない遭難しにくい山。登山口が判れば山頂まで息つく暇もないくらいのルート。問題は登山口を探すのに迷う可能性が高い。旧大宮市民誇りの迷山としてインターネットでも紹介されている。</a>	2011/1月の支部懇談会后に散策
番外	南天山	1483m 標高点		支部山行を2012/11月に実施
番外	父不見山	1047m 標高点		支部山行(忘年山行)を2012/12月に実施
番外	大高取山	376.4m 三等三角点		自然観察会(自然保護委員会主催)を2012/11月に実施 支部山行を2014/3月に実施
番外	官ノ倉山	344m 標高点		支部山行(忘年山行)を2010/12月に実施
				ふれあい登山を2013/4月に実施